

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ) を受けるまでの流れ

上部消化管内視鏡では、食道・胃・十二指腸の一部を観察します。

～前日の過ごし方～

前日は夕食まで食べていただいて構いません。ただし、いつもより少し早めの時間に済ませてください。(予約時間の12時間前くらいまでをお願いします。)ただし、胃の動きの悪い方(手術後の方など)は夕食を抜いてもいいかもしれません。

食事制限を行う理由は、食べ物という障害物がない状態でしっかりと観察を行うことと、検査中に食べ物が逆流することによる嘔吐や誤嚥を防ぐためです。

～検査当日～

① 前処置

検査の前にはまず消泡剤を飲んでもらいます。これは胃の中の**粘液や付着物を取り除くため**です。胃の表面に粘液や付着物が残っているとしっかりと観察が行えないので事前に除去しておきます。

次に咽頭に表面麻酔を行います。これは内視鏡がスムーズに通るためです。この咽頭麻酔が不十分だと内視鏡が喉を通過する際、食道と気管の分岐点を刺激してしまいおせこんでしまいます。また**若い方だと咽頭反射が強い**ため、しっかりと麻酔をすることが大切です。咽頭麻酔は基本的にリドカイン(キシロカイン)を使用しています。スプレータイプのものを使用する施設が多いと思いますが、アルコールを含まないゼリータイプのものもあります。

② 検査

検査時間は通常10分程度です。**体勢は左側臥位**です。この体勢は仰向けで行う時に比べて唾液を誤嚥しにくく、左側臥位にすることによって胃の大湾に水が溜まるので胃からの逆流が起こりにくいことが特徴です。

内視鏡を受ける際は、**ゆっくり深呼吸を意識して、唾液は飲み込まず口の中に溜まったら溢れ出してもらう**ことが苦しくなく検査を受けるポイントです。

③ 検査終了後

検査後は胃腸の中に観察のために入れた空気が残っていることや、咽頭麻酔が切れていないので**1時間程度飲食は控えましょう!**

※静脈注射による鎮静剤を使用して検査をした場合には別途注意が必要です。